

夏の
展示

2021年7月23日〔金・祝〕↓9月26日〔日〕



秋の
展示

2021年10月2日〔土〕↓12月19日〔日〕



佐久島の四季を歩く

アトリエ hitotema 「田中翔貴 + 秋保久美子」
会場／佐久島・弁天サロンギヤラリー 入館無料

西港渡船場下船 徒歩4分 月曜休館（月曜日が祝日の場合、祝日明けの最初の平日）

冬の
展示

2022年1月15日〔土〕↓3月13日〔日〕



佐久島の四季を写し取る

アトリエ hitotemaは、写真作家の田中翔貴と陶作家の秋保久美子のユニットとして 2017年に結成。「ちょっとひと手間かけてつくる、つながる」をコンセプトに、身近な自然に目を向け、暮らしに馴染むアイテムを制作することから始まり、2020年の初個展では染色、陶器、写真を組み合わせた作品を発表しました。

染色作品は、植物を「写真を撮影するように写し撮る方法」と「散策してスケッチを描くように移し取る方法」のふたつの「うつし取り方」のイメージから生み出した「形地染め(かたちぞめ)」という技法を使っています。身近な植物を直接布に挟みたたき込むことで、その色や形のイメージを移し取る「形地染め」は、「草花が育った土地の風土や空気感を写し取る」という意味を込めて考案された造語です。

『佐久島の四季を歩く』は、アトリエ hitotemaが佐久島の四季の植物を採取し制作した作品を、1年に渡って季節ごとに異なる展示で発表します。作家の目と手を通して届けられる佐久島の自然の息吹きをお楽しみください。

※ 2021年春の新型コロナウイルスの緊急事態宣言による公共施設の休館にともない、「春」の展示は2022年春の開催を予定しています。



自然に開かれた三重県いなべ市の元縫製作業所をアトリエに改装



アトリエ hitotema [田中翔貴 + 秋保久美子]

2017年に結成。2019年「道の途中で」hitotema のシゴトバ展 vol.1(三重)、2020年「つくりかけらの束」なうふ現代 Art gallery (岐阜)で作品を発表。2018年「つなげて・ふやして」いなべ市藤原文化センター(三重)、2021年「いろたたたき」愛知県児童総合センターでワークショップを行っている。

田中 翔貴 TANAKA,Shoki

1989年愛知県生まれ。2011年ブライトン大学(イギリス)交換留学、2012年名古屋芸術大学メディアコミュニケーションデザインコース卒業、2014年名古屋芸術大学大学院メディアデザイン研究領域修了。近年の展覧会は2015年「となりの人びと」文化フォーラム春日井、個展は2020年に佐久島弁天サロンで「海を見に行く」、2021年「光は、景色」なうふ現代 Art Gallery、「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.10 田中翔貴」岐阜県美術館など。

秋保久美子 AKIHO,Kumiko

1988年愛知県生まれ。2011年名古屋芸術大学デザイン学部デザイン学科テキスタイルデザインコース卒業。2020年「なんだかうれしい!2020」愛知県児童総合センター、2021年「日曜日のホットケーキ 秋保久美子展」アトリエ hitotema (三重)



アトリエ hitotema Instagram



アーティスト・トーク&交流会 申込不要/参加無料

開催日時/7月23日(金・祝)・10月2日(土)・2022年1月15日(土) 14:00~15:30 会場/佐久島弁天サロン
作家による作品解説の後、ささやかな交流会を開催します。お気軽にご参加ください。
各交流会開催時間中にアトリエ hitotemaによるてぬぐいやハンカチなどの形地染めグッズの販売もおこないます。

佐久島情報
チェックしよう!



佐久島公式サイト



Instagram



三河・佐久島アートプラン21